



至善館

SHIZENKAN

大学院大学至善館

イノベーション経営学院

2023 年度科目等履修生募集要項

インパクトビジネスとエコシステムの実践

～先端的成功事例の体感と先導者とのダイアログ /

Creating Impact Business and Ecosystems

目的

科目等履修生制度は、至善館の専門職修士課程の開講科目の一部を、修士課程の履修生以外の方に科目単位で履修いただける制度です。科目ごとに募集・選考を行った上で若干名の方に履修を認めるもので、履修を完了された方は単位を取得することができます。

この募集要項では、日本語にて開講する「インパクトビジネスとエコシステムの実践 (Creating Impact Business and Ecosystems) 科目」について記載します。科目等履修生を受け入れている他の科目については、P.6 を参考にしてください。

科目の概要

本コースの目的は「(社会的)インパクトビジネスの成功事例とその成功を支えるエコシステムの先端的事例や最新状況の可視化、及び社会変革とビジネスを両立している先導者たちとのダイアログによるインパクトビジネスの創出力と実践力の強化」にある。

上場企業、インパクトスタートアップ、地域ビジネスなど国内外の先端的な社会インパクト創出企業の事例を集約し体系的にその形成過程や構造を紹介するとともに、生徒にも至善館学生以外に、投資家、金融機関、財団、政府、インパクト評価者、アクセレレーターやアントレプレナーといったインパクトビジネス創出に関わるエコシステム各領域の実践者も授業に参加し、多様な視点から共創的にインパクトビジネス創出に必要な要素を考える。

(シラバスより抜粋。詳しくは本資料の末尾にシラバスを掲載しておりますので、参照してください。)

授業開催方法・日時

全ての授業を至善館キャンパスにて実施することを予定しております。開講日時は以下の通りです(日本標準時間)。

セッション1: 11月7日(火) 18:30-21:45

セッション2: 11月14日(火) 18:30-21:45

セッション3: 11月28日(火) 18:30-21:45

セッション4: 12月5日(火) 18:30-21:45

セッション5: 12月19日(火) 18:30-21:45

選考方法

(1) 選考内容

入学者の選考は、出願書類による一次審査の後、面接試験による二次審査を経て、判定します。面接試験では、出願書類の内容を含め、本科目へ参加いただくにあたっての問題意識や適性について、総合的な評価を行います(※1)。本科目は日本語で実施しますので、選考についても日本語で実施します。

※1 本プログラムの選考では、GMAT や GRE のスコア提出を求めません。

(2) 面接試験

面接は原則としてオンラインにて(Zoom を利用)実施することを予定しております。面接日時は出願時に候補の中から選択していただきます。URL 等の詳細については、第一次選考結果通知時にお知らせします。

出願資格

出願時点において、次のいずれかに該当する方で、本学入学までに、原則、常勤者として満3年以上の社会人経験を有する方が出願の資格を有します。

- (1) 大学を卒業した方
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 文部科学大臣の指定した方
- (5) 本学において修士課程を受けるにふさわしい学力および実務経験があると認められた方

出願及び選考プロセス

出願は、本学のウェブサイトより行なっていただきます。出願プロセスは、以下の4つのステップから構成されています。

ステップ1: 出願

- 次の出願フォームの指示に従い、出願してください。第二次の面接審査の希望日程も同時に伺います。なお、出願書類の志望動機の欄は、日本語で記入いただくようお願いいたします。

<https://forms.gle/fDLbgx9bdVHqoJE77>

ステップ2:書類選考、面接審査日程のご連絡

- 提出書類をもとに、第一次の書類選考を行います。書類選考を通過した方を対象に、第二次の面接審査を行います。書類選考を通過した方に対して、出願フォームに記載頂いた E-mail アドレスに、事務局より面接審査の日程と Zoom URL をお送りします。

ステップ3:面接審査

- 面接審査は、オンライン(Zoom)にて行います。所要時間は 30 分程度です。

ステップ4:合否連絡と入学手続

- 書類・面接審査の結果を踏まえて合否判断を行い、合否結果をご連絡します。
- 合格された方は、入学金と授業料の振り込みをいただきます。入学金と授業料の振り込みの完了をもって、科目等履修生としての受講を正式に認めます。

応募締め切り

- 2023 年 10 月 10 日(火)12:00

面接審査日程(予定)

出願フォームに入力いただいた希望をもとに次の日程のいずれかで 30 分を予定しています。

2023 年 10 月 11 日(水)18:30-21:00

2023 年 10 月 12 日(木)18:30-21:00

2023 年 10 月 13 日(金)18:30-21:00

合否結果のご連絡日程(予定)

出願フォームに記載頂いた E-mail アドレスに、事務局よりお送りします。

2023 年 10 月 13 日(金)

入学手続きおよび履修手続き

手続きは、合格通知と併せてお知らせする指示にしたがって行ってください。

手続き期限は 2023 年 10 月 27 日(金)です。

出願にあたり入力いただく項目

出願にあたって入力いただく項目は以下の通りです。すべての項目が揃った時点で正式な出願受付となります。締め切りまでに全ての項目が提出されなかった場合、出願は受け付けられません。

1. 氏名
2. 性別
3. 国籍
4. 生年月日
5. 住所
6. 電話番号
7. E-mail アドレス
8. 現在の勤務先
9. 学習歴
10. 志望動機および本科目での学びへのコミットメント
11. 面接日程の希望
12. パスポートの写し(日本国籍以外の方)
13. 在留カードの写し(日本国籍以外の方)

入学検定料について

入学検定料は 2023 年度に関しては不要です。

学費等について

履修にかかる費用は次のとおりです。

入学金	30,000 円
授業料	100,000 円
合 計	130,000 円

- (1) 授業料には、コースにて用いるケース教材の費用(使用する場合)を含みますが、教科書や参考図書の費用は含みません。

個人情報の取り扱いについて

本学では、提出された出願書類等は、入試関連業務及び入学後の学籍管理関係業務以外には使用しません。本学のプライバシーポリシーについては、本学ホームページをご覧ください。応募した方々は、本学のプライバシーポリシーに同意されたものとみなします。



留意事項

- (1)履修した科目の単位取得要件を満たした者については、単位を与え、本人の請求により単位習得証明書を発行します。
- (2)科目等履修生には、通学証明書(通学定期用)及び学割証は発行されません。
- (3)本学の科目等履修生であることを根拠とする在留資格は、取得できません。
- (4)授業が未開講になった場合、受講許可を取り消す可能性がありますのでご了承ください。

科目等履修生を募集する他の科目

至善館では、本科目以外にも、科目等履修生の受け入れを予定しています。以下が、2023年11月から2024年3月の期間における対象科目一覧です。今後、順次、募集を行う予定です。

科目名	言語	開講時期	案内時期
Entrepreneurship and Business Start-up	英語	2023年 11月-12月	2023年9月
インパクトビジネスとエコシステムの実践	日本語	2023年 11月-12月	2023年9月
プラットフォーム戦略	日本語	2023年 11月-12月	2023年9月
社会的インパクトの創出とマネジメントの本質	日本語	2024年 1月-2月	2023年11月
Creating and Managing Social Impact	英語	2024年 1月-2月	2023年11月
リーダーシップと交渉学	日本語	2024年 1月-2月	2023年11月
Leadership and Negotiation	英語	2024年 1月-2月	2023年11月



科目名: インパクトビジネスとエコシステムの実践
～先端的成功事例の体感と先導者とのダイアログ

実施年度/学期: 二年次前期

単位数: 1 単位(選択科目)

実施期間: 2023 年 11 月 7 日(火)～12 月 19 日(火)

担当教員: 鵜尾 雅隆 教授、工藤 七子 特任准教授、田淵 良敬 特任准教授

授業実施形態: 対面で行う

科目の目的:

本コースの目的は「(社会的)インパクトビジネスの成功事例とその成功を支えるエコシステムの先端的事例や最新状況の可視化、及び社会変革とビジネスを両立している先導者たちとのダイアログによるインパクトビジネスの創出力と実践力の強化」にある。このコースは、社会的インパクトの創出を実現するインパクトビジネスの創出に長年携わってきた実践者である3人の教員の協力によって提供する。

資本主義の限界性の議論から、新しい資本主義のあり方についての様々な議論が世界中で起こり始めてきている。西洋近代が描いた処方箋としての資本主義が今後どう進化していくのか、そしてその中において全人格リーダーとして一人ひとりがどのような哲学を持ち、企業のパーパスを構築し、実践していくのが問われてきている。

新しい時代の資本主義は、その哲学、制度や仕組み、市場メカニズムの形態といった要素のみならず、実際にインパクトビジネス(社会的インパクトと財務的インパクトを両立させ、かつ従業員や周囲のステークホルダーのウェルビーイングを高める「3つのインパクト」を創出するビジネスモデル)を実施する企業が存在しなければ実現することが不可能である。インパクトビジネスの主体も上場企業、ユニコーン企業から地域のローカルビジネスまで多様である。しかし、近年「社会的インパクトの創出」が世界で中心的な注目関心のテーマとなる中で、その本質的な理解や成功モデルの可視化が十分に進んでいるとはいえない状況にある。

本講義では、上場企業、インパクトスタートアップ、地域ビジネスなど世界及び日本の先端的な社会インパクト創出企業の事例を集約し体系的にその形成過程や構造を紹介するとともに、生徒にも至善館学生以外に、投資家、金融機関、財団、政府、インパクト評価者、アクセレレーターやアントレプレナーといったインパクトビジネス創出に関わるエコシステム各領域の実践者も授業に参加し、多様な視点から共創的にインパクトビジネス創出に必要な要素を考える機会を提供する。



学修の到達目標:

- 1.「社会にインパクトを生み出す」という観点からのインパクトビジネスの創出と実践の先端事例について理解し、先導者との対話により、自らの世界観を進化させる。
- 2.社会的インパクトの創出を目指すという事業特有の支援や協働のエコシステムへの理解を踏まえて、多角的な切り口からインパクトビジネスの創出について構想し、相互アドバイスと協働可能性の検証を通じて実現力を高める。

科目の位置づけ:

本科目は、至善館のコア科目の受講を終え、全人格リーダーとして企業、社会、資本主義等について本質的理解を深めたうえで、その新たな世界観、時代観、リーダー観を活かして新たな事業を創出しようとする人が対象である。実際に新たなビジネスを創出する際に必要となる社会的インパクトと財務的インパクト、ステークホルダーのウェルビーイングを両立させるビジネスモデルをどう創造し、実践として成功させるのかの体感值的理解を得ることを目指す。

学修アプローチ:

本講義では、3つの目的を融合して取り組む

第一に、インパクトビジネスの世界・国内の成功事例を体系化して解説し、またインパクトビジネスの実践者との対話を通じてその本質的理解を進めるとともに、「社会的インパクトを生み出そうとしている」というパッションがもたらす付加的可能性として、インパクト投資を含めた新たな金融や Blended Financing の鍵となる政府や財団の支援、社会的インパクト評価の仕組みや考え方など、インパクトビジネス創出と実践を支えるエコシステムの全体像も紹介する。

第二に、インパクトビジネス実践者・支援法人等多様なバックグラウンドや至善館アルムナイからの聴講生・科目等履修生を積極的に招聘することを通じて、インパクトビジネス創出と支援のエコシステム全体から生徒が参加し、組織や分野を超えて学びを通じて信頼できる繋がりを生み出す機会とする。この場が、卒業後も通じて自らが社会変化を生み出すうえで必要な枠をこえた同志を得る機会となる。

第三に、授業を通じて社会的インパクト創出事業モデルを構想する旅を多様なエコシステムのプレイヤーとともに行い、実際に自らがインパクトビジネスのアイデアを考え、自分との対話、他者との対話を通じて設計し、相互アドバイスを通じて、「3つのインパクト」創出力を高める。



教科書:

- GROW THE PIE — パーパスと利益の二項対立を超えて、持続可能な経済を実現する(アレックス・エドマンズ著(ヒューマンバリュー社、2023年))
- On Impact-A Guide to Impact Revolution (インパクトとは—インパクト革命へのガイド) Sir Ronald Cohen (日本語訳提供)
- マーク・エプスタイン他著・鶴尾雅隆監訳『社会的インパクトとは何か—社会変革のための投資・評価・事業戦略ガイド』(英治出版、2015年)

参考図書:

招聘聴講生、科目等履修生は至善館の生徒が前提としている社会認識を理解するためにこの参考文献を読むことを推奨する。

- 宮台真司、野田智義著『経営リーダーのための社会システム論 構造的問題と僕らの未来』(光文社、2022年)
- 野田智義著『コンテクスト・マネジメント 個を活かし、経営の質を高める』(光文社、2023年)

成績評価:

この科目の成績評価は、以下のように行う。

なお出席要件(3回以上)はもとより、3回以上のフィードバックシートと最終レポート提出は単位取得の必須要件となる。これらを未提出の場合は、単位の取得はできないものとする。

- | | |
|----------------|-----|
| -クラスへの参加・貢献度 | 30% |
| -フィードバックシートの提出 | 30% |
| -最終レポート | 40% |

剽窃について:

本学の方針に従い、レポートにおけるリファレンス(引用元・参照元の明記)のないカット&ペーストやカンニング(剽窃、第三者による代筆等)、各種不正が発覚した場合、当該コースの成績をFとする。不正行為が二度にわたった場合は、内容の如何を問わず、退学処分とする。

レポートの提出遅延について:

提出期限を過ぎて提出されたレポートは減点対象とし、場合によっては評価対象外となるので注意されたい。



各セッションの概要:

セッション 1: (理解) インパクトビジネス創出の価値とフレームワーク

ケース紹介登壇:

工藤七子 社会変革推進財団常務理

田淵良敬 ゼブラアンドカンパニー共同創業者代表取締役

セッション 2: (情熱と葛藤) インパクトビジネス創設者たちとのダイアログ

ケース紹介登壇:

磯野謙 自然電力株式会社代表取締役

小林味愛 株式会社陽と人代表取締役

セッション 3: (体感と構造化) トリプルインパクトを創出するインパクトビジネス

ケース紹介:

山口文洋 LITALICO 株式会社代表取締役社長

武田ブライアン剛 ウミノミクス株式会社代表取締役

セッション 4: (連携) インパクトビジネスを生み出すエコシステムの最前線

ケース登壇者:

須藤奈応 インパクト・フロンティアーズ ディレクター

白石智哉 フロネシス・パートナーズ株式会社代表取締役

セッション 5: (創造と実践) インパクトビジネス共創ワークショップ

以上

お問い合わせ

大学院大学至善館 事務局

住所: 〒103-6117 東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング 17F

電話: 03-6281-9011

E-mail: admissions-non-degree@shizenkan.ac.jp